

基本構想実現に向け着々と ～地域自治会スタートの二年間を振り返って～



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,962人
男子	3,381人
女子	3,581人
世帯数	2,490戸
(27年2月末現在)	

一定の成果あり

竜丘地域自治会長 木下和彦

力不足の会長でしたが多くの皆さんの協力で何とか二年間の役目を果たすことができました。ありがとうございました。

この二年間で成果の上がったことを記してみます。

(一)自治会と地域づくり委員会を一本化して地域自治会としました。

二十六年から適用しましたが、何ら障害もなく良かったと思います。将来的には各区も一本化をすると思います。

懸案の会計処理の事務員を雇用できたのも大きな前進です。

(二)竜丘地区基本構想が二十五年に完成しました。

各委員長総括

地域振興委員会

委員長 林 正己

基本構想に基づき、他委員会に属さない広範囲な事業に、各委員会皆様の協力を得ながら対応してまいりました。竜丘らしい原風景



な取り組みとして各方面から注目されています。

(三)道路問題にも一定の進展が見られました。

道路問題、クリーンセンターの跡地利用問題、地域自治会長の選出方法の改善等未解決の部分については、次期の皆さんに委ねたいと思います。

安全委員会

委員長 前澤一彦

分らない事ばかりの自治会活動も、やつのことで二年間が終わろうとしています。はじめての自治会で安全委員長という重責を任されて、戸惑いながらも自分なりに安全について考えたつもりですが、まだまだ至らない事ばかりだったと思います。後の方に更に竜丘の安全を進めていってほしいと思います。委員の皆様にも大変お世話になりました。ありがとうございました。

福祉健康委員会

委員長 園原忠敏

竜丘本会事業・各区五地区の活動共に概ね予定通り実施出来たと思います。

新規事業含めそれなりに遂行出来ました。事務局を始め、委員の皆様は御礼申し上げます。

その中でも、二十四年度高齢者アンケートの結果、買い物弱者の乗り合いタクシーについて必要性が高まり、市の公共交通担当者等と事務局にて、各区の敬老会等で説明会をしました。今年には各地区委員が体験乗車をして説明会を実施しました。十一月に鼎文化センターでの地域福祉推進委員会にてシンポジウム事例発表のシンポジストを依頼され、乗り合いタクシーの仕組みと、利用者実績を発表し年々利用者数が増加傾向にあり、好評を頂きました。

公民館長

下平勝照

「光陰矢の如し」二年間、継続し、内容の変更を伴ないながら、参加数に多少増減はあるが竜丘公民館の綱領ともいえる「知り合って、ふれあって、学びあおう」は着実に浸透していると感じていて、過不足なく各事業展開が果された。

「公民館事業が多過ぎる」の声は数年来あることは承知している。文化、体育、広報、民俗資料などの委員会は専門性と伝統があり容易には変えられない。残響があることが継続性を併せ持つこととなるのでは。

文化委員会

委員長 高橋伸幸

文化委員として公民館行事に関わらせていただいた二年間は様々な活動を通じて地域を学び、多くの方々と出会いに満ちていました。仕事や子育ての中で、公民館活動のための時間や気持ちの確保は「ほどほどにこなす」という事が中々出来ない自分にとっては大変でした。館長、主事、文化スタッフをもとより各分館の皆様にはただただ感謝です。本当にありがとうございました。

体育委員会

委員長 金子 至

運動会をはじめ夏季・冬季スポーツ大会等の運営に関わらせていただきました。地域の皆様、公民館役員全員の皆様に大変ご尽力いただき一年間の体育事業をやりきることができたと思います。ありがとうございました。

環境委員会

委員長 串原一保

ゴミの分別成績(組成調査/市内二十地区中)

- ・燃やすゴミ二十三年度十位 ↓ 二十六年度二位 (ただし十二地区中)
- ・埋立ゴミ二十四年度十七位 ↓ 二十六年度十一位
- ・埋立二十五年度は連年一位あり！

驚流峡の不法投棄問題がクローズアップされました。

環境家計簿に五十人以上が取り組みました。

ポイ捨て物を自主的に收拾してくださる方など、区民各位には感謝いたします！



民俗資料保存委員会

委員長 下平久雄

竜丘の尊い民俗資料を後世に引き継ぐために民俗資料保存委員会が発足して四十周年となり、記念式典を行い足跡を偲び発展を期した。「丘の語部たち」第五集を発刊したところ、好評にてご愛読くださりありがとうございました。

竜丘の大正期の文化遺産である児童自由画のレプリカを活用した顕彰活動に参加しました。

地区の皆様方のご理解ご協力にお礼申し上げます。



広報委員会

委員長 齊藤 浩

竜丘地区で行われた行事や公民館活動の様子など、地区の皆さんに分かりやすくお伝えしながら、記録としても残していけるよう、館報の紙面づくりに心がけてまいりました。

今後、これまでの伝統を守りつつ、皆さんの学びや活動のきっかけづくり、地域課題を考える機会となるよう、読みやすく親しみやすい館報を目指してまいります。ぜひ、ご感想などお寄せください。

ヤブ刈

四月に県議会議員選挙が予定されているが、近年の国政選挙や地方議会の選挙の投票率は低迷が続いている。特に二十代、三十代の投票率の下降は著しく、平成二年の衆議院選挙の二十代の投票率は五十七%だったのに対して、昨年の衆議院選挙では三十七%と実に二十%も下落しているとのことである。

これからの日本を担っていく若者の「選挙離れ」は、見過ごすことのできない状況になっている。また、人口減少や高齢化により、地方議会の担い手も不足する状況で、市町村議員選挙では無投票の割合が高くなっており、こちらも深刻な問題となっている。

このような状況の中、現在「二十歳以上」とされている選挙権を持つ年齢が、「十八歳以上」と二歳引き下げられる可能性が強まっている。この改正案が成立すれば、来年夏の参院選から適用される見通しであり、二百四十万人の有権者が増えるとのことだ。

現状では、若者の投票率が低いため、政治家は高齢者の投票率をみて支持されるための政策を示している。自ずと予算は高齢者福祉などに手厚くなり、子育て支援などには薄くなっている。これでは、選挙権が二歳引き下げられても選挙の結果が変わると思えない。

やみくもに「選挙に行こう」と訴えても簡単には若者は振り向いてくれない。国の借金などは若い世代の将来のつげになることや、選挙に参加する意義を今一度若者と共有することが必要だ。この改正が、若者が政治に関わるきっかけになればいいのだが。

ひとつの節目 二十回目を迎える ニューイヤーコンサート



今年で二十回目を迎えた「ニューイヤーコンサート」が一月二十五日に開催され、多くの方々が竜丘に春を告げる歌声と演奏に酔いしれました。

二十回目の開催という記念すべき節目の今年は、保育園児から高齢者のみなさん、また、独唱から吹奏楽まで、幅広い年代やジャンルから、十五の発表が行われました。

始まりは「時又保育園のマーチングバンド」から。年長さんのかわいい子どもたちが一年間の練習の成果を発表してくれました。続いては「飯田力ネット合唱団」の合唱劇。おそろいの衣装

四〇年を超える活動の「竜丘コーラス」のみなさんは、高齢化にも負けず素晴らしい歌声を披露し、次の「鈴丘太鼓子供連」は、大人にも負けない元気な演奏を聴かせてくれました。

「竜丘小学校合唱グループ」は、学年に関係なく、

「リコーダー」は晴着姿の女性もいて、新春らしい花を添えてくれました。次の「中島雑貨店」は二十回フル出場の中島夫妻を中

「大人の学校ハーモニカクラブ」のみなさんの素朴なハーモニカの音色が続いては、小学生の大正琴グループ「Gストリングス琴姫」の発表。「笑点のテーマ」の演奏が会場の笑いを誘いました。続いての「木下アンサンブル」は初登場で、受験勉強の合間を縫っての親子三名でのクラリネット演奏に一同が聴き入りました。

心とするユニットで、珍しいハーモニカで澄んだ音色を聞かせてくれました。

最後は「緑ヶ丘中学校の合唱部と吹奏楽部」その合唱や演奏もさることながら、元氣よく、みんなを楽しませる司会の上達ぶりに驚かされました。会場全員での妖怪ウォッチ体操からアンコールの「宝島」、そして最後は吹奏楽の演奏に乗せ、全員で「ふるさと」を歌い、大盛り上がりの中に閉会となりました。



晴らしい一日となりました。なお、出演されたグループは随時会員を募集しています。入会希望については公民館までお問い合わせください。

これからの公民館と 地域づくりを考える ―第五十二回飯田市公民館大会―

二月十五日に、第五十二回飯田市公民館大会が開催されました。竜丘からも三十名余の方々が参加しました。

開会式の中で、飯田市教育功労者表彰が行なわれ、竜丘公民館からは、鈴木運友さん、久保田寛人さんの二名の方が表彰を受けられました。

基調講演では、吉本哲郎さんによる「地元学による持続可能な地域づくり」な小学生が学校のある平日「

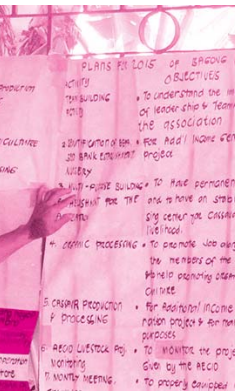
に「地域の施設に宿泊」して「共同生活を送りながら学校に通う」ことを、四泊五日で行いました。

五日間は、地域の方々の協力を得て、親とは顔を合わせずに取組む中での苦労や、子どもたちの成長などが報告されました。その



後のグループ討議でも活発な意見が出し合えました。昨年は大雪により中止になっていたし、二年ぶりの

クラブの片桐信親さん(駄科)、宮嶋逸雄さん(桐林)、公民館主事の熊谷隆幸さんが参加しました。現地では、



暮らしの課題解決に取り組んでいました。駄科区民センターを参考に公民館を建設しました。学びや自治の拠点として期待されます。

また、新たに取組む二つの村の住民に、公民館の理解を深めてもらうよう、加藤さんと熊谷主事が、公民館の役割や分館活動、主事の役割について説明し、意見交換を行いました。

フィリピンで KOMINKANの槌音響く

レガスピ市で、住民参加型の仕組みがKOMINKANとして広まり実践されていることに驚き、そのきっかけが、毎年行われているPLSD研修である聞き、竜丘での学びが繋がっていると実感しました。

加藤さんは、帰国後の駄科文化祭で「熱心に取り組んでいるフィリピンの皆さんの姿から、私たちも学ぶべきものがたくさんあります」



【収入】				
委員会	事業項目	予算額	決算額	比較
1 地域自治会		33,699,000	34,919,152	1,220,152
	1会費収入	15,300,000	15,640,000	340,000
	2パワーアップ交付金A	6,155,000	6,155,000	0
	3交付金B	2,942,000	2,941,899	△ 101
	4その他 交付金及び補助金(交付金C)	1,298,000	1,359,902	61,902
	5繰越金	7,802,846	7,802,846	0
	6繰入金	0	0	0
	7寄付金	0	0	0
	8預金利息	1,154	1,252	98
	9雑収入	200,000	1,018,253	818,253
	収入合計	33,699,000	34,919,152	1,220,152

【支出】				
委員会	事業項目	予算額	決算額	比較
1 区長会		12,178,000	10,952,528	1,225,472
	1総務費	8,960,000	8,280,948	679,052
	1報酬	3,480,000	3,505,000	△ 25,000
	2賃金	368,000	330,016	37,984
	3手当	1,700,000	1,663,800	36,200
	4報償費	240,000	240,000	0
	5旅費	80,000	1,295	78,705
	6交際費	214,000	157,040	56,960
	7会議費	783,000	486,135	296,865
	8消耗品費	900,000	938,932	△ 38,932
	9燃料費	15,000	3,000	12,000
	10印刷製本費	100,000	24,192	75,808
	12修繕料	100,000	176,458	△ 76,458
	13通信運搬費	70,000	119,447	△ 49,447
	14手数料	40,000	10,044	29,956

平成26年度 竜丘地域自治会会計 決算

委員会	事業項目	予算額	決算額	比較	説明
	15保険料	240,000	237,110	2,890	自治会総合保険
	16賃借料及び使用料	400,000	227,454	172,546	パココンリース代、コピー使用料ほか
	17備品購入費	80,000	50,004	29,996	備品購入費
	18雑費	150,000	111,021	38,979	イベント謝礼ほか
2事業費		3,218,000	2,671,580	546,420	
	2基本構想プロジェクト事業活動推進費	150,000	12,200	137,800	グループ活動費助成
	4クリーンセンター後利用検討会議	120,000	27,900	92,100	会議費、視察経費
	5自主防・消防団助成事業	2,450,000	2,450,000	0	
	6緑ヶ丘中学校生徒指導補助事業	150,000	102,500	47,500	
	9組合未加入者促進事業	50,000	74,000	△ 24,000	リーフレット印刷
	10住民自治フォーラム開催事業	148,000	4,980	143,020	講師謝礼・旅費
	11地域協議会委員研修事業	150,000	0	150,000	講師謝礼・旅費
2地域振興委員会		5,446,000	3,581,741	1,864,259	
3安全委員会		2,127,000	2,049,668	77,332	
4福祉健康委員会		2,899,000	2,705,948	193,052	
5環境委員会		1,045,000	1,001,296	43,704	
6公民館		5,637,000	5,382,976	254,024	
7特別委員会		510,000	340,992	169,008	
	1竜丘古墳の会	410,000	325,607	84,393	
	2自由画保存顕彰委員会	100,000	15,385	84,615	
8予備費		3,557,000	282,611	3,274,389	
9積立金		300,000	300,000	0	安全委員会 100,000円、環境委員会 200,000円
	支出合計	33,699,000	26,597,760	7,101,240	
	残高		8,321,392		